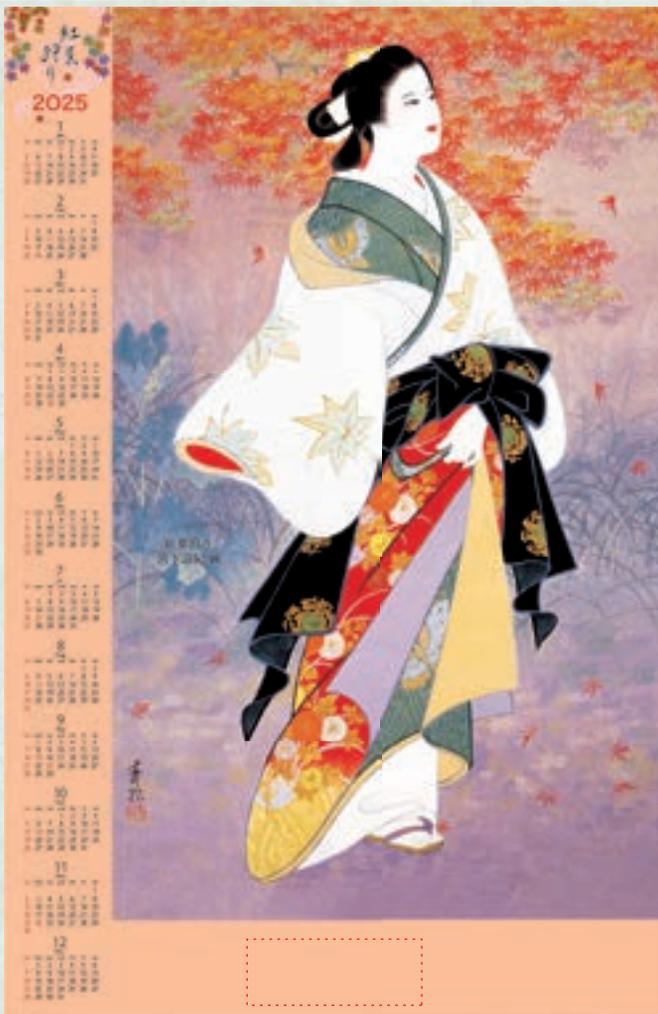


# Tradition

伝統の美



「紅葉狩り」 宮下壽紀 画

↑ 通常名入位置はここになります。

## FU-26 商品No.5526

みやした ひさのり

### ●【不織布】紅葉狩り(宮下壽紀)

■サイズ=90cm×59cm ■名入印刷寸法=6cm×18cm ■化粧箱=大 ■名入刷色=黒

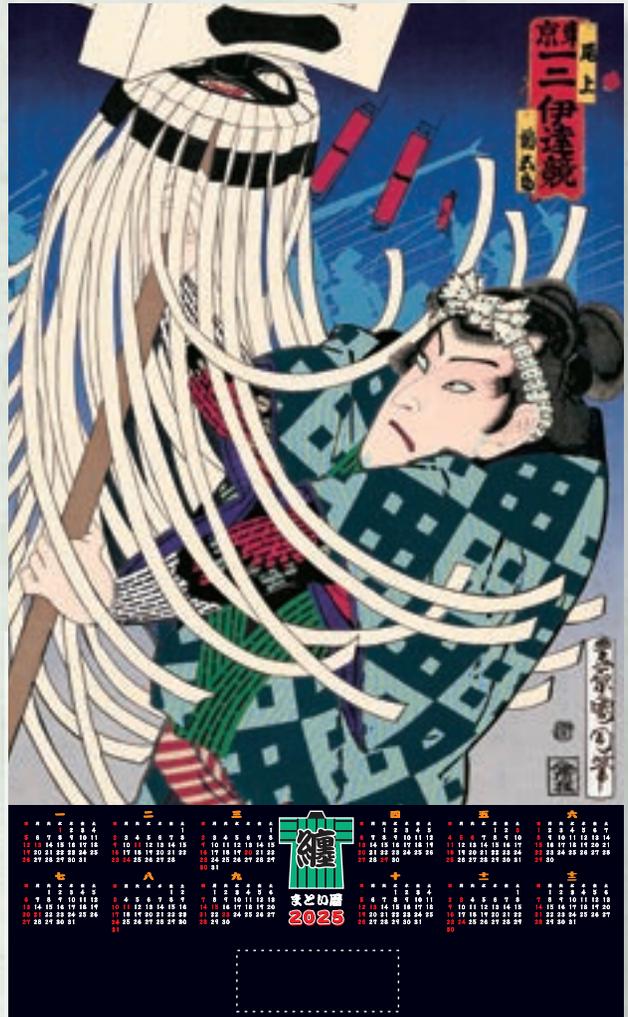
現代美人画の巨匠・宮下壽紀が描く美人画カレンダーです。秋の紅葉に囲まれ佇む日本女性の優雅な仕草を美しく華やかな色づかいで表現しています。

#### プロフィール

みやした ひさのり

#### 宮下 壽紀 (1922～2016)

1922年長野県生まれ。伊東深水を師とし、主に歌舞伎や日本舞踊などの古典舞踊を題材とした現代美人画を描き、日本の伝統美をひまえた優雅で繊細な画風は多くの人に高く評価されている。1989年紺綬褒章功労賞受賞。1998年芸術文化世界賞受賞。大英博物館、山種美術館、水野美術館などに作品収蔵。



「東京一ニ伊達鏡 尾上菊五郎」  
豊原国周 画

↑ 通常名入位置はここになります。

## FU-28 商品No.5528

### ●【不織布】まとい

■サイズ=90cm×55cm ■名入印刷寸法=6cm×18cm ■化粧箱=大 ■名入刷色=白

「東京一ニ伊達鏡」は当時の人気歌舞伎役者を「町火消」に見立て火消姿に扮した10人の歌舞伎役者が描かれています。ここに描かれている役者はシリーズの1番目「尾上菊五郎」です。江戸時代、火事が起きたら現場へ向かい消火に進出する、「町火消」の勇敢で威勢の良い振る舞いは江戸っ子の「粋」の極みであり、庶民のヒーローでした。誰もがその勇姿に感動し憧れ、その様子を描いた浮世絵は色々な形で現在にも残っています。

#### プロフィール

とよはら くにちか

#### 豊原 国周 (1835～1900)

幕末から明治時代に活躍した歌川派の浮世絵師。初めは豊原国信に学び羽子板押絵の原画を描いていた。嘉永元年頃幕末浮世絵界の大御所・三代歌川国貞(三代豊国)に入門し、師譲りの役者絵で名を挙げた。技量の高さは明治期随一といっても過言ではなく、明治の歌舞伎界を練られた筆致で描き出し「明治の写実」の異名で知られている。